

地方創生臨時交付金等を活用した
新型コロナウイルス感染症に対する
市独自支援策

(令和3年度 実績報告)

令和4年10月
和泉市

はじめに

新型コロナウイルス感染症については、その影響が長引く中、国の臨時交付金等を活用しながら、これまで8次にわたって、感染予防対策や市民生活及び経済活動の支援を目的に、市独自の支援策を取り組んできております。

本資料については、これまでの支援策のうち、令和3年度に実施した第5次及び第6次の市独自支援策の実績を報告するものです。

第5次支援策では、新たに国から追加交付された臨時交付金を迅速に有効活用することを念頭に、令和2年度に実施した事業から継続すべき事業として、全市民を対象とした「お買物割引チケット事業」や市内の雇用対策として「雇用就労支援事業」、その他、国の制度を市独自に補完し、事業効果の底上げを図る「企業等支援補助金」や「ひとり親世帯への臨時給付金」、感染予防対策及び感染予防啓発を目的とした「公共施設への検温モニターの設置」等を実施しました。

第6次支援策では、「事業者支援分」として国から追加交付された臨時交付金を活用して、売り上げが減少し、事業継続のための融資実行を受けた市内中小企業者を支援するために「中小企業者事業継続支援金」を実施しつつ、「学校園でのPCR検査の実施」、「電子図書館蔵書の充実」、「公共施設へのWi-Fi環境の整備」等、多岐にわたって感染症対策の強化を図りました。

新型コロナウイルス感染症に伴う影響が依然として、継続した状況となっておりますが、現在では標準的な設備となりつつある検温モニターやサーマルカメラ等の物品導入、感染症の蔓延期における備えについては、一定対応済みであると認識しています。

今後については、引き続き、第7次支援策並びに第8次支援策を着実に取り組むとともに、感染状況や経済情勢、国・府の動向を注視しつつ、市独自支援策の必要性を判断していくこととなります。

新型コロナウイルス感染症対応 市独自支援策 目次

ページ

■第5次支援策（令和3年3月25日開催 第1回定例会）		
（⑨のみ令和3年7月20日開催 第2回定例会）		
① 公共施設への検温モニターの設置	【危機管理課】	1
② お買い物割引チケット事業	【産業振興室】	2
③ 市内宿泊事業者への支援事業	【産業振興室】	3
④ 企業等支援補助金	【産業振興室】	4
⑤ 雇用就労支援事業	【くらしサポート課】	5
⑥ ひとり親世帯への臨時給付金	【子育て支援室】	6
⑦ 新生児への特別定額給付金	【子育て支援室】	7
⑧ 新型コロナウイルス感染症患者入院受入医療機関支援金	【健康づくり推進室】	8
⑨ 新型コロナウイルス感染症家庭内感染防止宿泊支援事業	【健康づくり推進室】	9
⑩ 小・中・義務教育学校 PC の持ち帰り用バッグの購入	【学校教育室】	10
■第6次支援策（令和3年9月30日開催 第3回定例会）		
① 避難所装備の充実	【危機管理課】	11
② WEB会議・研修等の推進	【政策企画室】	12
③ 公共施設へのWi-Fi環境の整備	【広報・協働推進室】	13
	【生涯学習推進室】	
④ サーマルカメラの導入	【広報・協働推進室】	14
	【生涯学習推進室】	
⑤ 中小企業者事業継続支援金	【産業振興室】	15
⑥ 学校園でのPCR検査の実施	【学校園管理室】	16
	【こども未来室】	
⑦ 感染拡大防止のなかでの学びの保障	【学校教育室】	17
⑧ 電子図書館蔵書の充実	【生涯学習推進室】	18
■事業評価（分野別）		19
■事業費総額と財源内訳		29

■参考資料

(アンケート調査)	30
(第7次支援策)	31
(第8次支援策)	31
(第1次から第8次支援策の事業費)	31
(その他)	32

■第5次支援策

取組名称	①公共施設への検温モニターの設置		
所管課	危機管理部 危機管理課		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策 ・感染予防の啓発 		
事業内容	<p>【対象者】市有施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検温モニター（自動噴霧器付きサーマルカメラ）を公共施設36ヶ所（79台）、公立保育園等11ヶ所（11台）に設置 ・令和3年7月2日に設置完了 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・検温モニターの購入費 <p style="text-align: right;">5,636千円（62,623円×90台）</p>		
予算額	19,800千円	決算見込額	5,636千円
		（うち臨時交付金）	4,406千円
		（うち一般財源）	1,230千円

取組名称	②お買い物割引チケット事業		
所管課	環境産業部 産業振興室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への生活支援 ・市内店舗等での消費喚起 		
事業内容	<p>【対象者】全市民（令和3年4月20日現在の住民基本台帳に登録）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内店舗等（約680店舗）で使用できる割引チケット（1人当たり3,000円分）を配布 ・1,000円毎に500円分の割引チケットの使用が可能 ・令和3年5月17日に郵送、使用期間は令和3年5月23日から令和3年10月31日まで 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・お買い物割引チケット換金負担金 534,741千円（使用率95.8%） ・お買い物割引チケット事務委託料 43,712千円 		
予算額	605,000千円	決算見込額	578,453千円
		（うち臨時交付金）	575,332千円
		（うち一般財源）	3,121千円

取組名称	③市内宿泊事業者への支援事業		
所管課	環境産業部 産業振興室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内宿泊事業者への支援 ・市内店舗等での消費喚起 		
事業内容	<p>【対象者】GoToトラベルキャンペーンの対象となる市内ホテル・旅館</p> <p><宿泊プラン内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人当たり8,000円以上の宿泊プランが対象 ・宿泊費(2,000円)の助成に加えて、 【令和3年6月1日から令和3年10月31日まで】 お買い物割引チケット(3,000円分)を配布 【令和3年11月1日から令和4年2月28日まで】 3,000円分の当該事業所で利用できる割引券を配布 ・和泉市特産品1,000円相当分のお土産付き(宿泊事業者負担) ・実施期間は令和3年6月1日から令和4年2月28日まで(先着5,000名) 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊促進事業補助金 10,000千円(2,000円×5,000人) 12,330千円(割引券分) ・お買い物割引チケット換金負担金 1,294千円 		
予算額	25,360千円	決算見込額	23,624千円
		(うち臨時交付金)	23,495千円
		(うち一般財源)	129千円

取組名称	④企業等支援補助金		
所管課	環境産業部 産業振興室		
事業目的	・市内中小事業者等に対する税の負担軽減		
事業内容	<p>【対象者】地方税法附則第63条第1項第2号の対象者（前年度比30%～50%未満の売上減少が生じた中小事業者等）</p> <p>・同法の適用を受けて算出された固定資産税及び都市計画税（家屋・償却資産）の1/2相当額を補助</p>		
実績	<p>・企業等支援補助金</p> <p style="text-align: right;">28,513 千円（109 事業者）</p>		
予算額	44,388 千円	決算見込額	28,513 千円
		（うち臨時交付金）	21,279 千円
		（うち一般財源）	7,234 千円

取組名称	⑤雇用就労支援事業		
所管課	市民生活部 くらしサポート課		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の採用意欲を高めることによる求職者の就労促進 		
事業内容	<p>【対象者】市内中小事業者、個人事業主</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月31日以降に失業状態となった市民を3ヶ月以上雇用した場合、正規雇用1人当たり20万円、非正規雇用1人当たり10万円を補助 対象期間は令和3年2月2日から令和3年12月1日の雇用開始まで 3ヶ月継続して雇用した後、2ヶ月以内に申請書提出、令和4年3月15日に申請受付終了 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> 離職者雇用事業者補助金（正規） 5,800千円（200,000円×29人） 離職者雇用事業者補助金（非正規） 2,800千円（100,000円×28人） その他事務経費 75千円（印刷費） 		
予算額	14,050千円	決算見込額	8,675千円
		（うち臨時交付金）	6,837千円
		（うち一般財源）	1,838千円

取組名称	⑥ひとり親世帯への臨時給付金		
所管課	子育て健康部 子育て支援室		
事業目的	・ひとり親世帯の経済的な負担軽減		
事業内容	<p>【対象者】国の「ひとり親世帯臨時特別給付金」の支給を受けていない令和3年3月分の児童扶養手当の受給者 ※国施策は令和2年6月分の児童扶養手当受給者等が対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国施策と同額の1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円を給付 ・令和3年5月から順次、給付開始 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親世帯臨時給付金 8,200千円（125世帯） 		
予算額	12,800千円	決算見込額	8,200千円
		（うち臨時交付金）	8,155千円
		（うち一般財源）	45千円

取組名称	⑦新生児特別定額給付金		
所管課	子育て健康部 子育て支援室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯への生活支援 		
事業内容	<p>【対象者】国の特別定額給付金の受給対象外となる令和2年4月28日以降に生まれた子の親権者等 ※国施策は令和2年4月27日が基準日</p> <ul style="list-style-type: none"> 1人当たり10万円を給付 令和3年4月1日までに生まれた子が対象（令和2年度に給付を受けた者を除く） 申請期間は令和3年4月30日まで 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> 新生児特別定額給付金 10,800千円（100,000円×108人） 		
予算額	10,000千円	決算見込額	10,800千円
		（うち臨時交付金）	10,741千円
		（うち一般財源）	59千円

取組名称	⑧新型コロナウイルス感染症患者入院受入医療機関支援金		
所管課	子育て健康部 健康づくり推進室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・医療提供環境の確保及び維持 		
事業内容	<p>【対象者】新型コロナウイルス感染症患者を入院受入する医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の受入 1 人当たり 30 万円～60 万円（患者の症状による）を給付 ・対象期間は令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで（令和 2 年度の給付分を除く） 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症患者入院受入医療機関支援金（軽症患者） 7,500 千円（300,000 円×25 人） ・感染症患者入院受入医療機関支援金（中症患者） 24,300 千円（450,000 円×54 人） ・感染症患者入院受入医療機関支援金（重症患者） 4,200 千円（600,000 円×7 人） 		
予算額	49,350 千円	決算見込額	36,000 千円
		（うち臨時交付金）	28,163 千円
		（うち一般財源）	7,837 千円

取組名称	⑨新型コロナウイルス感染症家庭内感染防止宿泊支援事業		
所管課	子育て健康部 健康づくり推進室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内感染の防止 ・市内における感染拡大の防止 		
事業内容	<p>【対象者】濃厚接触者又は濃厚接触者の同居家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1泊当たり上限5,000円、13泊を限度に宿泊費用を支援 ・令和3年8月1日から令和4年3月31日までの宿泊が対象 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内感染防止宿泊支援金 2,140千円（72人利用、428泊分） 		
予算額	2,080千円	決算見込額	2,140千円
		（うちふるさと元気寄附）	538千円
		（うち一般財源）	1,602千円

取組名称	⑩小・中・義務教育学校 PC の持ち帰り用バッグの購入		
所管課	教育・こども部 学校教育室		
事業目的	・臨時休業の際の自宅学習への備え		
事業内容	<p>【対象者】全児童・生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1台配備するパソコンの持ち帰り用バッグを配布 ・令和3年12月17日に配布完了 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・バッグの購入費 <p style="text-align: right;">9,130 千円 (570.625 円×16,000 個)</p>		
予算額	43,604 千円	決算見込額	9,130 千円
		(うち臨時交付金)	9,080 千円
		(うち一般財源)	50 千円

■第6次支援策

取組名称	①避難所装備の充実		
所管課	危機管理部 危機管理課		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所内での感染拡大防止 ・3密回避 		
事業内容	<p>【対象者】指定避難所及び指定福祉避難所並びに災害時備蓄拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間仕切り(ワンタッチパーテーション)を指定避難所31ヶ所(各10セット)及び災害時備蓄拠点1ヶ所(20セット)に備蓄 ・エアーマットを指定避難所31ヶ所(各20台)及び災害時備蓄拠点1ヶ所(40台)に備蓄 ・小型拡声器を指定避難所31ヶ所(各1本)及び災害時備蓄拠点1ヶ所(2本)に備蓄 ・令和4年3月4日に完了 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間仕切りの購入費 5,368千円(16,266円×330セット) ・エアーマットの購入費 3,850千円(5,833円×660台) ・小型拡声器の購入費 1,071千円(32,450円×33台) 		
予算額	12,706千円	決算見込額	10,289千円
		(うち臨時交付金)	8,044千円
		(うち一般財源)	2,245千円

取組名称	②WEB会議・研修等の推進		
所管課	市長公室 政策企画室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止 ・WEB会議やテレワークの環境整備 		
事業内容	<p>【対象者】庁内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議室の構築 ・Web会議用タブレット端末の購入 ・テレワーク用パソコンの購入 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB会議室の構築費用（Web会議セット、ディスプレイ等） 1,564千円（521,288円×3室） ・Web会議用タブレット端末の購入費 2,904千円（96,800円×30台） ・Web会議用備品の購入費（カメラ、マイク付スピーカ） 401千円（133,815円×3セット） ・テレワーク用パソコンの購入費 2,112千円（70,400円×30台） 		
予算額	9,165千円	決算見込額	6,981千円
		（うち臨時交付金）	5,457千円
		（うち一般財源）	1,524千円

取組名称	③公共施設へのWi-Fi環境の整備		
所管課	市長公室 広報・協働推進室 生涯学習部 生涯学習推進室		
事業目的	・感染拡大の防止		
事業内容	<p>【対象】和泉シティプラザ、コミュニティセンター、南部リージョンセンター、北部リージョンセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議、講習・講座のリモート開催、テレワークオフィスとして利用できるようにWi-Fi環境の整備 ・令和4年2月28日に設置完了、令和4年4月～5月に運用開始 		
実績	<p><南部リージョンセンター、北部リージョンセンター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境の構築費 1,181千円 ・インターネット回線等の初期工事及び利用料 71千円（2ヶ月分） <p><和泉シティプラザ、コミュニティセンター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境の構築費 1,389千円 ・インターネット回線等の利用料 0千円（既存回線利用のため） 		
予算額	3,572千円	決算見込額	2,641千円
		（うち臨時交付金）	2,060千円
		（うち一般財源）	581千円

取組名称	④サーマルカメラの導入		
所管課	市長公室 広報・協働推進室 生涯学習部 生涯学習推進室		
事業目的	・速やかに検温できる環境の確保		
事業内容	<p>【対象】和泉シティプラザ（弥生の風ホール・レセプションホール）、コミュニティセンター（多目的ホール）、南部リージョンセンター（多目的ホール）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数の利用が見込まれるイベントで用いるサーマルカメラの整備 ・令和3年11月26日に設置 		
実績	<p><南部リージョンセンター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーマルカメラの購入費 <p style="text-align: right;">733千円（1台）</p> <p><和泉シティプラザ、コミュニティセンター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーマルカメラの購入費 <p style="text-align: right;">1,465千円（2台）</p>		
予算額	3,000千円	決算見込額	2,198千円
		（うち臨時交付金）	1,716千円
		（うち一般財源）	482千円

取組名称	⑤中小企業者事業継続支援金		
所管課	環境産業部 産業振興室		
事業目的	・市内中小企業者の事業継続を支援		
事業内容	<p>【対象者】市内中小企業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資実行に必要となる保証料相当額を現金給付（上限 20 万円） ・令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 2 月 28 日までの融資が対象 ・令和 3 年 10 月 11 日から申請受付、令和 4 年 2 月 28 日に受付終了 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者事業継続支援金 ・その他事務経費 	<p>8,351 千円（63 者）</p> <p>150 千円(印刷費等)</p>	
予算額	30,126 千円	決算見込額	8,501 千円
		（うち臨時交付金）	6,645 千円
		（うち一般財源）	1,856 千円

取組名称	⑥学校園でのPCR検査の実施		
所管課	教育・こども部 学校園管理室 教育・こども部 こども未来室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大の防止 ・感染不安の解消 		
事業内容	<p>【対象者】小学校、中学校、幼稚園、保育所等の児童・生徒・教員等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染者確認に伴う臨時休業が発生した際に、任意のPCR検査を実施 ・令和3年10月1日から令和4年3月31日までの検査が対象 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査委託料(小学校・中学校・幼稚園・保育所) 4,528千円(4,000円×1,132人) ・PCR検査費用補助金(民間保育所等) 336千円(85人) 		
予算額	23,540千円	決算見込額	4,864千円
		(うち臨時交付金)	3,800千円
		(うち一般財源)	1,064千円

取組名称	⑦感染拡大防止のなかでの学びの保障		
所管課	教育・こども部 学校教育室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での感染拡大防止 ・家庭でオンライン授業を受けることができる環境整備 		
事業内容	<p>【対象者】小・中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1台配備するパソコンを自宅で使用するためのACアダプタの配布 ・オンライン授業の推進に必要なとなる動画編集用パソコン等の整備 ・令和3年12月22日に配備完了 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプタの購入費 22,616千円（1,413.5円×16,000台） ・パソコンの購入費 5,965千円（198,825円×30台） ・カメラ用外付けマイク等の購入費 599千円（19,984円×30セット） 		
予算額	64,100千円	決算見込額	29,180千円
		（うち臨時交付金）	22,812千円
		（うち一般財源）	6,368千円

取組名称	⑧電子図書館蔵書の充実		
所管課	生涯学習部 生涯学習推進室		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大の防止 ・電子図書の充実 ・自宅等での読書環境を確保 		
事業内容	<p>【対象者】全市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月に電子図書を購入 ・電子図書館利用に必要な図書館カードを令和4年1月から2月に市内小中学校の児童・生徒に配布 		
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書の購入費 19,800千円(3,658点) ・図書館カードの作成費 1,108千円(198円×5,596枚) 		
予算額	21,800千円	決算見込額	20,908千円
		(うち臨時交付金)	16,346千円
		(うち一般財源)	4,562千円

■事業評価（分野別）

1. 全市民を対象とした経済的支援

事業一覧	決算見込額	うち臨時交付金
(5次) ②お買い物割引チケット事業	578,453 千円	575,332 千円
	578,453 千円	575,332 千円

<市民の声・反応>

【お買い物割引チケット事業】

- ・「家計が助かる」、「ありがたい」という声が複数あった。
- ・使用できる店舗が多数あるので、嬉しい。
- ・今後も毎年、チケットを発行してほしい。

<評価・効果等>

令和2年度に実施した同事業により使用方法等が周知できていたことに加え、チケットを使用できる店舗から約80店舗増加し、約680店舗となったため、チケットの使用率は95.8%へと非常に高い水準となった。ついでには、市民への生活支援だけでなく、市内消費の喚起及び商業活性化に繋がった。

また、令和4年1月から2月にかけて実施した市民アンケートの結果からも効果的な事業として8割以上の市民から好評を得ているように、市民への生活支援として効果的な支援策であった。

2. 子育て世帯を対象とした経済的支援

事業一覧	決算見込額	うち臨時交付金
(5次) ⑦新生児特別定額給付金	10,800 千円	10,741 千円
	10,800 千円	10,741 千円

<市民の声・反応>

【新生児特別定額給付金】

- ・令和3年度も給付があるものと勘違いした。
- ・期間の延長を検討してほしい。

<評価・効果等>

国制度の受給対象外となる令和2年4月28日以降に生まれた子に対し、市独自に対象にすることで、同一学年の子に対して平等に給付金を交付し、子育て世帯に対する経済的な支援が達成された。

3. 特に支援が必要となる者に限定した経済的支援

事業一覧	決算見込額	うち臨時交付金
(5次) ⑤雇用就労支援事業	8,675 千円	6,837 千円
⑥ひとり親世帯への臨時給付金	8,200 千円	8,155 千円
	16,875 千円	14,992 千円

<市民の声・反応>

【雇用就労支援事業】

(事業者からの反応として)

- ・大阪府雇用促進支援金が延長されているので、市の支援策も延長してほしい。
- ・従業員を採用したところ、本制度に該当することがわかり申請した。あれば助かる制度。

【ひとり親世帯への臨時給付金】

- ・特に無し（国施策を補完するものであるため。）

<評価・効果等>

「雇用就労支援事業」については、令和2年度の事業効果が限定的となってしまったことを鑑み、支給対象要件を「市内に本店または主たる事業所を有する中小企業等」から「市内に事業所を有するもの」に緩和した。その結果、広く市民の雇用機会の創出に繋げることができた。

「ひとり親世帯への臨時給付金」については、国制度の対象外となる令和2年7月以降に新たに児童扶養手当の対象となるひとり親世帯を救済するという不平等の是正に加えて、速やかに給付を行うことで、支援が必要な対象者の支援に繋がった。

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、特定の対象者を見極めることが困難な状況ではあったが、失業状態となった市民の雇用創出や経済的な影響を受けやすいひとり親世帯の経済的な負担軽減等、着実に支援を実施できたことから、十分に意義のある支援策であった。

4. 事業者を対象とした経済的支援

事業一覧	決算見込額	うち臨時交付金
(5次) ③市内宿泊事業者への支援事業	23,624 千円	23,495 千円
④企業等支援補助金	28,513 千円	21,279 千円
(6次) ⑤中小企業者事業継続支援金	8,501 千円	6,645 千円
	60,638 千円	51,419 千円

<市民の声・反応>

【市内宿泊事業者への支援事業】

- ・市内在住だが、こういうキャンペーンであれば是非、利用したい。
- ・特産品の蜂蜜を頂き、地元の良い品を見つけるヒントになった。
- ・ホテル周辺は静かで過ごしやすかった。
- ・帰省のため遠方の親戚が利用する等、家庭内での感染症対策にも繋がった。

【企業等支援補助金】

- ・売上が減少している中、国の施策から更に、市において補助してくれるのは、有り難かった。

【中小企業者事業継続支援金】

- ・保証料の一部であっても、補助してもらえると融資を受けやすくなるので助かる。

<評価・効果等>

「市内宿泊事業者への支援事業」については、緊急事態宣言の発令等に伴い、当初は事業を実施できなかったが、実施後においては、大阪府のキャンペーンと併用できたこともあり、募集枠（先着5,000名）全てが完売となった結果、市内宿泊事業者への支援に繋がった。また、本市の魅力や特産品を伝えるという副次的な効果があった。

「企業等支援補助金」については、コロナの影響が長期化する中、売上が減少している事業者に対し、国施策を超えて税負担（固定資産税等）を軽減することにより、市内事業者の効果的な支援に繋がった。

「中小企業者事業継続支援金」については、国制度により創設されコロナ関連融資に要する保証料を市独自に補助することで、融資額の総額約 10 億円の実行に繋がり、市内中小企業者の事業継続に資することができた。

事業者を対象とした支援については、国や府等の支援策を重ねて実施することで、より大きな効果を発揮し、非常に効果的な支援策であった。また、本市の魅力を伝えるという副次的な効果については、今後の商業活性化等にも期待したい。

5. 医療体制の確保

事業一覧	決算見込額	うち臨時交付金
(5次) ⑧新型コロナウイルス感染症患者入院受入医療機関支援金	36,000 千円	28,163 千円
	36,000 千円	28,163 千円

<市民の声・反応>

【新型コロナウイルス感染症患者入院受入医療機関支援金】

- ・特に無し

<評価・効果等>

感染者を受け入れる医療機関を支援することで、医療機関のモチベーションアップに繋がる等、医療提供体制の確保及び維持に寄与した。

6. 感染予防対策、感染症の蔓延期における備え

事業一覧	決算見込額	うち臨時交付金
(5次) ①公共施設への検温モニターの設置	5,636 千円	4,406 千円
⑨新型コロナウイルス感染症家庭内感染防止宿泊支援事業	2,140 千円	0 千円
⑩小・中・義務教育学校 PC の持ち帰り用バッグの購入	9,130 千円	9,080 千円
(6次) ①避難所装備の充実	10,289 千円	8,044 千円
②WEB 会議・研修等の推進	6,981 千円	5,457 千円
③公共施設への Wi-Fi 環境の整備	2,641 千円	2,060 千円
④サーマルカメラの導入	2,198 千円	1,716 千円
⑥学校園での PCR 検査の実施	4,864 千円	3,800 千円
⑦感染拡大防止のなかでの学びの保障	29,180 千円	22,812 千円
⑧電子図書館蔵書の充実	20,908 千円	16,346 千円
	93,967 千円	73,721 千円

※ (5次) ⑨新型コロナウイルス感染症家庭内感染防止宿泊支援事業については、ふるさと元気寄附を活用

<市民の声・反応>

【公共施設への検温モニターの設置】

- ・令和 4 年 1 月から 2 月にかけて実施した市民アンケートの結果において、約 2 割の市民から効果的な施策として好評であった。

【新型コロナウイルス感染症家庭内感染防止宿泊支援事業】

- ・感染リスクが下がり、安心できた。

【小・中・義務教育学校 PC の持ち帰り用バッグの購入】

(教員の声として)

- ・児童がパソコンを家庭に持ち帰る時に、どこかにぶつけてしまう心配があったが、そういった破損を防ぐことができ安心。
- ・充電保管庫から取り出したパソコンをバッグに入れることで、机の中での保管や机の横にかけることが可能となったので、スムーズな活用が可能となった。

【避難所装備の充実】

- ・特に無し（利用機会がなかったため。）

【WEB 会議・研修等の推進】

- ・特に無し（庁内で利用するものであるため。）

【公共施設への Wi-Fi 環境の整備】

- ・便利になって良かった。
- ・時世に合わせた取組である。
- ・すぐに利用ができて便利。
- ・会議等が円滑にできるようになった。
- ・現地とオンラインの併用で会議を開催できるので、参加者を増やすことができた。
- ・自習をしながら、ちょっとした調べもの等に便利。

【サーマルカメラの導入】

- ・来館者もごく自然に使用でき、スピーディーに検温できるので良い。
- ・大きなイベントを開催する時にスムーズに受付ができて便利だった。
- ・サーマルカメラの方向を向くだけで検温できるので、入口で混雑することなくて良かった。

【学校園での PCR 検査の実施】

- ・学校（級）内で罹患者が出たことへの不安解消のために、無料検査の機会があって良かった。
- ・受診することなく、学校で検査を受けられるので負担が無かった。
- ・検査が実施されたことにより、感染拡大の不安がある程度払拭された。

【感染拡大防止のなかでの学びの保障】

（教員の声として）

- ・パソコンを家庭へ持ち帰るたびに充電保管庫から AC アダプタを取り外す必要がなくなったので、非常に有難い。
- ・パソコンを家庭へ持ち帰った際に、家庭で充電することが可能となったので、授業で利用する時に充電切れの心配をしなくてよくて便利。

【電子図書館蔵書の充実】

- ・もっと新しい電子書籍を置いてほしい。

<評価・効果等>

「公共施設への検温モニターの設置」については、公共施設における感染予防対策を講じることで、施設の適切な利用を促し、利用者の安心・安全を守ることに繋がった。

「新型コロナウイルス感染症家庭内感染防止宿泊支援事業」については、想定より利用者数が多く、利用者やその家族の安心に繋げることができた。

「小・中・義務教育学校 PC の持ち帰り用バッグの購入」については、自宅へ持ち帰って活用する等の積極的な活用を促進できたので、今後は、家庭での学習環境の確保という感染症蔓延期の臨時休校等に対する備えとしても期待ができる。

「避難所装備の充実」を図ることにより、新型コロナウイルス感染症の状況下において不測の事態が発生した場合にも、市民の安心・安全を守るより強固な基盤となった。

「WEB 会議・研修等の推進」については、会議・研修受講等のオンライン化による職員等の感染拡大防止に寄与する他、テレワークの実施により、濃厚接触等の事由により職場に出勤できない場合であっても、業務を継続することができた。

「公共施設への Wi-Fi 環境の整備」については、新型コロナウイルス感染症の状況下においても感染拡大防止対策を講じながらの貸室利用を可能とするとともに、施設利用の幅を広げる等、利用者の利便性向上に繋がった。

「サーマルカメラの導入」については、大きなイベント開催等においても施設利用者の検温をスムーズにできるため、受付時の混雑解消につながった他、感染拡大防止対策として効果的であった。

「学校園での PCR 検査の実施」については、無症状の罹患者を早期把握ができて、感染拡大防止に繋がった他、児童・生徒・園児・保護者の臨時休業や感染拡大への不安を解消することが一定できた。

「感染拡大防止のなかでの学びの保障」については、パソコンを家庭で活用する等の積極的な活用の推進に繋がるとともに、新型コロナウイルスの影響等により、登校できない児童・生徒へのオンライン授業を実施することで学習機会を確保できた。

「電子図書館蔵書の充実」については、広報いずみで特集として市民周知を実施した結果、電子図書館の利用件数が増加となり、図書館に来館せずとも自宅等で読書できるという観点から感染拡大防止につながった。

公共施設内における感染予防対策として、現在では標準的な設備となりつつある検温モニターやサーマルカメラ等の物品を導入する他、Wi-Fi 環境の整備や電子図書館等、公共施設に集まらなくても済むような環境を整えることで、感染予防対策に着実に取り組んだ。また、家庭での学習環境を確保する等の感染症の蔓延期の備えも実施した。これら多岐にわたる取組により、着実に感染予防対策、感染症の蔓延期における備えを推進することができた。

■事業費総額と財源内訳

<事業費総額(決算見込)>

第5次支援策（令和3年3月25日開催 第1回定例会） （令和3年7月20日開催 第2回定例会）	711,171 千円
第6次支援策（令和3年9月30日開催 第3回定例会）	85,562 千円
合計	796,733 千円

<財源内訳>

地方創生 臨時交付金	第3次交付額	617,696 千円
	事業者支援分	120,728 千円
	その他	15,944 千円
計		754,368 千円

ふるさと元気寄附（新型コロナウイルス感染症に係る支援）	538 千円
合計	754,906 千円

※臨時交付金の「その他」については、国庫補助事業の地方負担分に応じて配分された額（65,471 千円）のうち、
地方単独事業に活用することとなった額

差額の41,827千円については、一般財源で対応

■参考資料(アンケート調査)

<調査概要>

期 間：令和4年1月～2月

対 象：18歳以上の市民3,000人 ※無作為抽出

回答数：1,315人（無効票含む）

内 容：市独自支援策のうち、良かったと思うものを3つまで選択

<設問>

新型コロナウイルス感染症対応として、市が行った支援策として良かったと思う施策は何ですか。良かったと思う施策を、3つまで選んでください。

<結果>

支援策	アンケート結果
a. お買い物割引チケットの配布	1,045人
b. 市内宿泊事業者への支援	50人
c. 企業等支援補助金	118人
d. 中小企業者事業継続支援金	14人
e. ひとり親世帯への臨時給付金	214人
f. 濃厚接触者等への宿泊支援	151人
g. 新生児への特別定額給付金	101人
h. 学校園でのPCR検査実施	121人
i. 電子図書館蔵書の充実	59人
j. 公共施設へのWi-Fi環境整備	82人
k. 公共施設への検温モニター・サーマルカメラの設置	309人
l. 児童・生徒1人1台PCを活用した学習環境の整備	263人

■参考資料（第7次支援策）

国から追加交付された臨時交付金（604,935千円）を活用し、令和4年度に以下の第7次支援策を実施。（令和4年3月25日開催第1回定例会）

1. お買い物割引チケット事業（第3弾） <産業振興室・市民室>

長期化するコロナ禍における生活支援、事業者支援を目的に割引チケット（市民1人当たり2,500円）を配布するもの。また、マイナンバーカード取得者に加算配布（市民1人当たり2,500円）することで、マイナンバーカードの普及促進を図るもの。

2. 学校園でのPCR検査の実施 <学校園管理室・こども未来室>

学校園において、感染者確認に伴う臨時休業等が発生した際に、その学級の児童生徒、教員等に対し、任意のPCR検査を実施することにより、感染拡大防止、感染不安の解消を図るもの。

■参考資料（第8次支援策）

国から追加交付された臨時交付金（552,673千円）を活用し、令和4年度に以下の第8次支援策を実施。（令和4年6月30日開催第2回定例会）

1. お買い物割引チケット事業（第4弾） <産業振興室>

長期化するコロナ禍における生活支援、事業者支援を目的に割引チケット（市民1人当たり3,000円）を配布するもの。

■参考資料（第1次から第8次支援策の事業費）

（単位：千円）

	事業費	交付金	その他	一般財源
令和2年度（決算）	2,332,419	1,884,351	180,086	267,982
令和3年度（決算見込）	796,733	754,368	538	41,827
令和4年度（予算）	1,458,825	1,157,608	0	301,217
合計	4,587,977	3,796,327	180,624	611,026

■参考資料（その他）

市独自支援策とは別に、国庫補助事業の地方負担分に応じて配分された臨時交付金を活用し、令和3年度に以下の事業を実施。

項番	名称	概要	所管課	交付金充当額
1	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化事業	コロナ禍の生活困窮者に対する相談支援機能の強化、住居確保給付金の対象拡大に対応するために、自立相談支援員等を増員。	くらしサポート課	2,020千円
2	疾病予防対策事業	ウィズコロナ下での次なる危機への備えとして、マイナンバー情報の連携や健（検）診結果の利活用に向けた庁内システム改修。	健康づくり推進室	1,416千円
3	学校保健特別対策事業	教育活動を継続していく上で感染症対策を行い、子どもの健やかな学びを保障するために衛生用品等を購入。	学校園管理室	25,907千円
4	保育対策事業	感染拡大防止を目的に、保育施設の運営に必要な物品等を確保。	学校園管理室 こども未来室	8,482千円
5	学習指導員配置事業	感染症の影響による学習の遅れに対応するために、学習指導員を配置。	学校教育室	10,677千円
6	公立学校情報機器整備事業	感染拡大にかかる出席停止者への学習保障を充実するために、オンライン授業等を推進するためのICT機器を整備。	学校教育室	525千円
7	教育支援体制整備事業	感染拡大防止を目的に、公立幼稚園の運営に必要な物品等を確保。	こども未来室	500千円
				49,527千円

【評価】

生活困窮者に対する相談窓口の強化、学校園の感染拡大防止に必要な物品の確保や消毒作業の負担軽減、児童・生徒の学習をサポートする人員配置やオンライン授業の実施等、多岐にわたって必要不可欠な対策を講じることができた。